

第37回研修会ご案内

南海トラフ地震の発生する確率が今後30年のうち80%程度と引き上げられ、和歌山県では津波や地震による甚大な被害が予想されています。

また、ここ数年の気候変動による「線状降水帯」の発生が多発し、土砂災害や洪水の被害がどこで発生してもおかしくない状況となっています。

災害に備え、医療や福祉の事業所・専門職に期待される役割とは何なのか？

改めて「来たる災害」について知る研修となっています。この機会に是非ご参加下さいますようお願い申し上げます。

1. 日時： 令和7年6月19日（木）午後7時～午後8時30分

2. 会場： ひだか病院 診療管理棟 3F 講堂 or ZOOM ミーティング

3. 演題： 「来たる災害に備えて」

～医療・福祉分野に期待される役割～

4. 講師： 御坊市危機管理課

課長補佐 谷口 泰之 氏

※ 準備の都合上、別紙参加者名簿を令和7年6月12日までに事務局あて FAX 等にて提出をお願いします。

今回はより多くの方にご参加いただけるよう ZOOM を活用し、会場とオンラインのハイブリッド形式で実施します。

会場参加が難しい方は、当日までに ZOOM のミーティング ID を Fax 等にてお知らせしますので、申込書に貴事業所の FAX 番号をご記入ください。



フレンズつながり事務局

日高在宅医療サポートセンター

TEL 52-5255 Fax 52-5256

Eメール hidaka.s.center@sage.ocn.ne.jp